

大会概要

テーマ：機能水とワンヘルス・SDGs

大会長：佐藤 勉（東海大学医学部 教授）

会 期：2024年10月5～6日（土～日）

会 場：日本薬学会 長井記念ホール（長井記念館 B1F）

東京都渋谷区澁谷 2-12-1 （03-3406-3326）

<https://www.pharm.or.jp/hall/access.html>

主 催：日本機能水学会

共 催：（一財）機能水研究振興財団、

後 援：アルカリイオン整水器協議会、（一社）日本電解水協会、微酸性次亜塩素酸水協議会、ウォーター研究会

協 賛：日本口腔機能水学会、日本医療・環境オゾン学会、（公財）レイ・パストゥール医学研究センター、

電気化学会電解科学技術委員会、三遠南信水機能活用研究会

参加費：会員6,000円、非会員10,000円、学生3,000円

技術交流会：会費6,000円（一律）

一般演題募集：2024年4月1日～2024年5月31日（予定）

参加登録期間：2024年8月1日～2024年9月13日（予定）

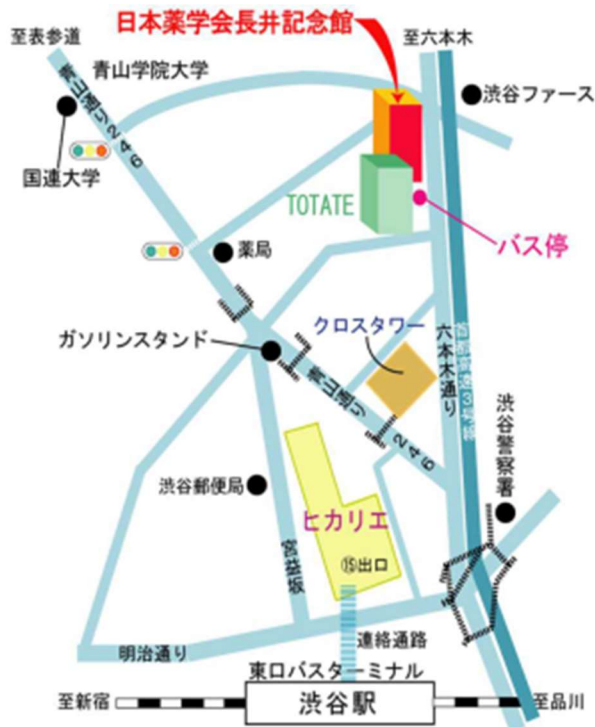
組織委員会：佐藤勉、（委員長）、菊地憲次、堀田国元、吉川敏一

プログラム委員会：内藤博敬（委員長）、佐藤勉、才原康弘、須藤良庸、轟知光

実行委員会：中藤誉子（委員長）、土崎尚史、恒川良太郎、二階堂勝、廣中伸治

大会事務局：日本機能水学会事務局（担当：中藤誉子・堀田国元）

TEL 03-3495-0251 E-mail: kinousui-gakkai@fwf.or.jp <http://www.fwf.or.jp/gakkai.html>



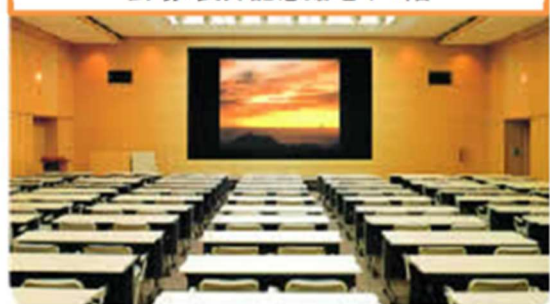
電 車：JR 山手線、東急東横線、東急田園都市線、京王井の頭線、
地下鉄銀座線・半蔵門線・副都心線で渋谷駅下車

JR 渋谷駅東口より、

徒歩：高樹町方面へ高速道路3号線沿い8分

都バス：「学03日赤医療センター行き」1つ目、渋谷3丁目下車

会場：長井記念館地下1階



第 22 回日本機能水学会学術大会 大会長挨拶

テーマ：機能水とワンヘルス・SDGs

佐藤 勉（東海大学医学部・（公財）ルイ・パストゥール医学研究センター）

この度、第 22 回日本機能水学会学術大会の大会長を拝命いたしました。昨年は鶴 知光先生のご尽力により、素晴らしい学術大会・技術交流会が開催されました。今回は東京の長井記念館が会場となります。本記念館での開催は過去に何度かありますので、ご存知の方も多いかと思います。しかし会場の近辺、特に渋谷駅周辺の変貌には目をみはるものがあります。会場に向かう途中で、新しい発見があるかも知れません。是非会場にお越しいただき、大会を盛り上げていただきたいと思います。

先日、「SDGs が危機に瀕している」という新聞記事が目にとまりました。記事は新聞社のインタビューに応じた国連事務次長補の話に掲載したものでしたが、17 の目標の中で評価可能な約 140 の小項目のうち、「順調に進んでいる」のは 15%にとどまっているという内容でした。その低さに驚くと同時に、世界各地で頻発する戦争、止まらない環境破壊や気候変動などを考えると当然の結果とも思いました。また、日本では SDGs の認知度は高いが、国別達成度ランキングは 2017 年の 11 位から 2023 年には 21 位に後退したという記載もありました。順位の低下だけでは詳細を知ることはできませんが、先の 15%という数字から推測すると、我が国の SDGs はかなりの危機的状況ではないかと思われまます。SDGs は人間が作成した目標ではありますが、その実現にはワンヘルス、すなわち人間、動物そして環境を一体的に捉える必要があることは言を俟ちません。

機能水は日本で生まれた言葉（概念）ですが、これまでに様々な機能水が研究・開発されてきています。これらの機能水は医療、農水産業や食品衛生分野などその活用は多岐にわたっています。なかでも電解水は、「品質（生成原理）、生成機器と生成水の規格」「有効性」「安全性」のいずれにおいても科学的根拠が明確に提示された機能水です。そして生体（人間、家畜など）や環境に優しいことから、SDGs やワンヘルスの観点からもさらなる活用が期待されています。そこで電解水をはじめとする様々な機能水のさらなる可能性を求めて、今回のテーマを「機能水とワンヘルス・SDGs」とさせていただき、準備をすすめているところでございます。プログラムとして、招待・教育講演のほかに理化学技術セッション（第 91 回ウォーター研究会）、一般演題セッション、国際セッション、大会長講演を予定しております。皆様の参加を心よりお待ちしております。